

東京支社が平成21年4月より移転致しました。

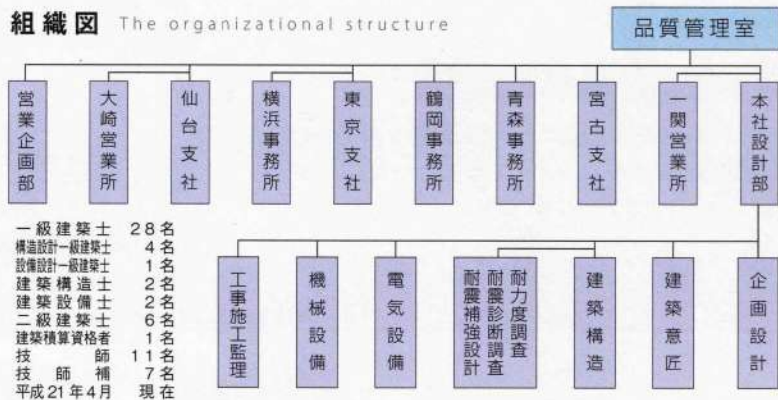
□東京支社

〒150-0001
 東京都渋谷区神宮前5-48-3
 プロスパー青山
 TEL.03-5468-6252
 FAX.03-5468-6253

地下鉄 半蔵門線「表参道駅」
 下車 B②番出口 徒歩3分



組織図 The organizational structure



KUJI ARCHITECTS NETWORK

本社	岩手県盛岡市紺屋町3-11 TEL.019-624-2020/FAX.019-622-7720 [岩手県知事登録(こ)第5号] (社)岩手県建築士事務所協会会員	東京支社	東京都渋谷区神宮前5-48-3 プロスパー青山 TEL.03-5468-6252/FAX.03-5468-6253 [東京都知事登録第54196号] (社)東京都建築士事務所協会会員
一関営業所	岩手県一関市地主町6-1 TEL.0191-26-2006/FAX.0191-23-7550 [岩手県知事登録第1657号]	横浜事務所	神奈川県横浜市港北区箕輪町1-8 TEL.045-286-0092/FAX.045-286-0093
宮古支社	岩手県宮古市新町1-2 TEL.0193-71-1380/FAX.0193-71-1381 [岩手県知事登録第1651号]	仙台支社	宮城県仙台市青葉区八幡5-3-11 久慈設計仙台ビル TEL.022-727-8780/FAX.022-727-8781 [宮城県知事登録第02510044号] (社)宮城県建築士事務所協会会員
青森事務所	青森県青森市岡道1-12-16 TEL.017-765-4767/FAX.017-765-4768	大崎営業所	宮城県大崎市古川小泉字大小441-1 エクセレント ファム102号 TEL.0229-24-5020/FAX.0229-24-5029
鶴岡事務所	山形県鶴岡市道形町1-32-1 TEL.0235-29-1522/FAX.0235-29-1523		

(社)公共建築協会会員 (社)日本建築家協会会員 (社)日本建築積算協会会員 (社)日本建築士事務所協会会員
 (社)日本医療福祉建築協会会員 (社)日本建築士会連合会会員 (社)日本コンストラクション・マネジメント協会会員

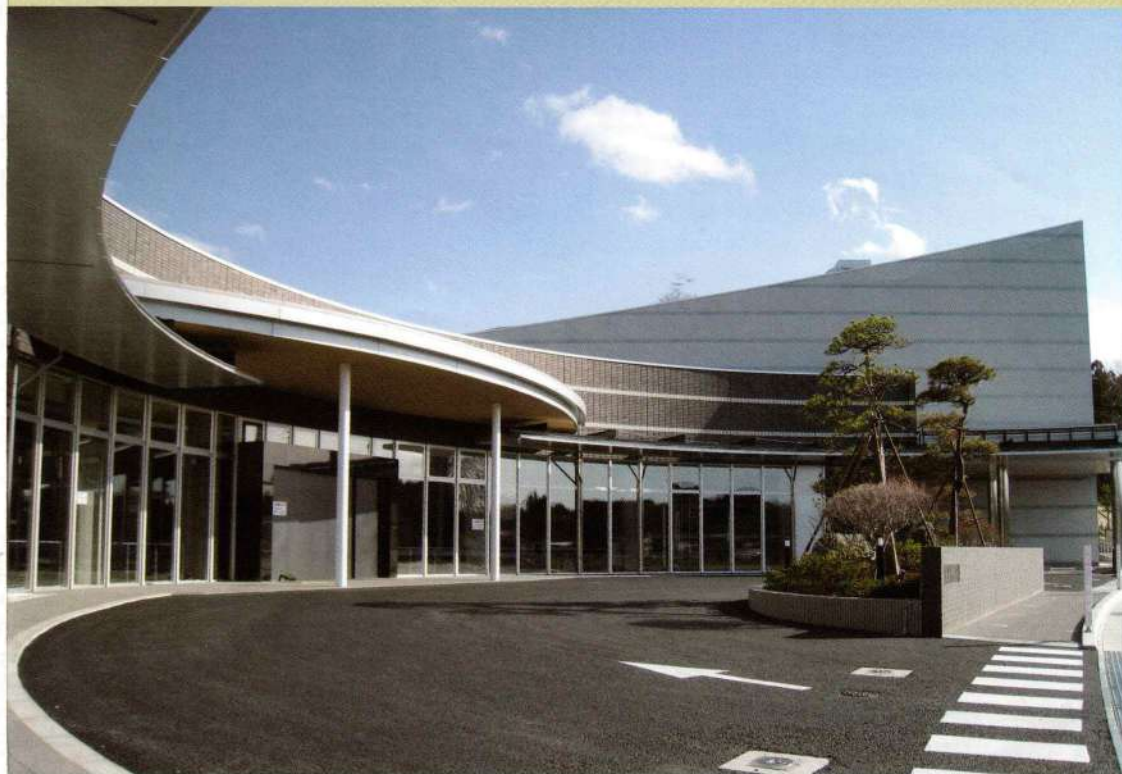
Tomorrow for the SMILE®

4 APR
月号

2009

【特集】

宮城県 登米市斎場



KUJI ARCHITECTS STUDIO
 株式会社 久慈設計®



<http://www.kuji-act.com/>



登米市斎場

施工地／宮城県登米市迫町
佐沼字沼向61番地
竣工年月日／平成21年2月27日
構造／鉄筋コンクリート造2階建
敷地面積／6,172.70㎡
延床面積／2,148.96㎡
火葬炉設備／4基
火葬炉設計／富士建設工業株式会社

悲しみを和らげる空間

人間にとって最も尊厳性のある火葬という儀式をおこなう場として、葬家にとって崇高さとやすらぎある施設・空間作りを葬送への思いを込め設計に取り組みました。

外観は周辺の田園風景に溶け込むよう水平性を意識し、自然石や無彩色系の硬質な仕上げとし落ち着いた厳粛なイメージを表現いたしております。

正面玄関にはゆるやかな円弧状のアプローチを設け悲しみにあるご遺族、会葬者を優しく包み込むように迎え、外の世界との隔離を生む斎場を演出しております。

ホール内部は白色を基調とする透明感のある落ち着いた色彩計画とし、中央の黒色玄関との対比による「生と死の境界」をイメージする空間となっております。

告別室、炉前ホールは光と影の陰影で満たされ、天蓋からの穏かな明かり、炉前ホールトッライトからの印象強い光、待合ホールにおいては田園のかなたに広がる稜線からの夕日、自然光が差し込む内部は故人の遺徳をしのぶ、やすらぎの空間となっております。



ホール



告別室



炉前ホール



夕日が差し込む待合ホール

自然環境への配慮

「人と自然に優しい施設」をテーマに環境配慮に取り組む新しい斎場は、ばい煙対策として宮城県内では仙台市について2例目となる「バグフィルター等の高性能集じん装置」を設置し、煙や灰などの処理を万全におこない環境負荷の低減に配慮しております。

待合室棟の屋根に太陽光発電パネルを設け太陽光によって発電される20kwの電力で施設内の照明をまかない、環境負荷及び二酸化炭素排出量の低減を図ります。また雨水利用設備を採用し、トイレの洗浄水として利用することで維持管理コストの低減にも努めております。



太陽光発電パネル



火葬炉棟の集じん装置

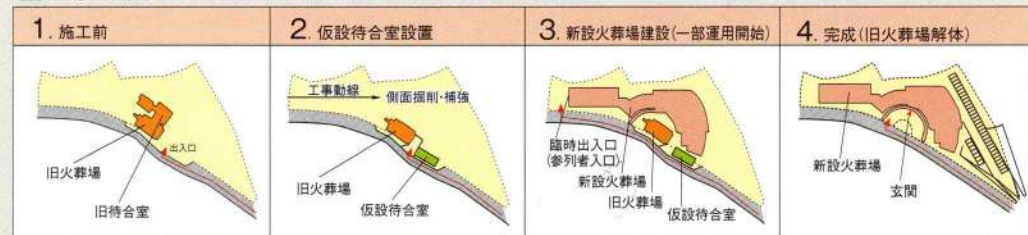


火葬炉

既存施設を運営しながらの建設

新斎場建設は既存施設と同一の敷地に、火葬施設を運営しながらの建替計画となり、農地と山に挟まれる狭小地において、より効率的に施設利用が可能となる事はもとより、敷地の有効活用にも配慮して取り組みをいたしました。

■工事工程



■配置図兼 1階平面図

